

令和4年度 和白青松園事業報告書

1. 入所実績

○ 定員	52名
○ 延定員	18,980名
○ 入所日数	365日
○ 延入所児数	8,104名
○ 平均入所児数	22.2名
○ 入所率	42.7%

(1) 入所状況

(単位は% : 名)

月区分	4月初	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
幼児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学校	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2
中学校	9	9	7	7	7	9	10	10	9	9	11	13	13
高校生	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	10	8
その他	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	22	22	20	19	19	21	24	24	23	23	25	25	23
入所率	42.3	42.3	38.4	36.5	36.5	40.3	46.1	46.1	44.2	44.2	48.0	48.0	46.1
入所 合計名 9名	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	2	2	0
退所 合計名 8名		0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	2	2
一時保護委託 利用者人数 合計 85名		6	6	8	9	8	6	6	7	7	9	8	5
ショートステイ 利用者人数 合計 230名		27	29	17	20	27	16	18	17	19	17	11	12

## (2) 入退所理由

(単位：名)

入所理由 区分	虐待	就労	疾病	拘禁	養護	その他	計
年度初現在数	4	0	8	4	6	0	22
入所数	0	0	3	1	5	0	9
退 所 数	措置変更	1	0	0	0	0	1
	家庭引取	0	0	0	2	1	3
	就職・進学	1	0	1	0	0	2
	その他	0	0	0	0	2	2
	計	2	0	1	2	3	8
年度末現在数	2	0	10	3	8	0	23

## 2. 児童の支援について

### (1) 基本方針・基本理念

#### ①基本理念

児童一人ひとりの立場に立って人権を養護、尊重し最善の福祉サービスを提供することを目指します。

#### ②基本方針

人権尊重を養護の基本とし、事故の防止、疾病の予防に万全を期し明るく健やかに日常生活を送れるよう温かい環境作りに努力する。

\* (家庭に近づけ、健康で、いつも笑顔の明るい夢のある生活)

### (2) 目標の反省

◇私たちはかけがえのない存在です。お互い思いやりを持って優しい気持ちで接して行きましょう。  
＝各ホーム、少人数での生活が実施できたため、児童間のトラブルは非常に少なかった。女兒ホームにおいては、新入所児童と、長期在籍児童の関係がなかなか良い方向に向かない傾向が見られた。

◇一人ひとりが目標を持ち、あきらめず一生懸命に努力しやり遂げましょう。

＝部活動やアルバイトなど活発に取り組む児童と学校に足が向かない児童の二極化が見られた。

◇まわりの人に素直に「ありがとう」が言える感謝の気持ちを持ちましょう。

＝大きな行事が減少し外部の方々との交流も少なくなったため、目立たないが、普段の生活の中での小さな感謝の表現は、むしろ増加傾向にある。

◇みんなで話し合った事や決まりをきちんと守り、責任感を持ちましょう。

＝逸脱行為はほぼ見られなくなったが、高校年代の児童においては、帰宅時間の認識が甘くなる傾向が見られた。友人関係も大切ではあるが、節度を持った行動を取れるよう支援を行った。

### (3) 具体的内容

- ① 小学生 ○生活支援…少人数ではあったが、順調に学校に登校しながら経験を積むことができた。一時保護所での生活を継続したため、安定した支援を実施することができた。
- 学習支援…特別支援学校や支援学級所属の児童のみだったため、日頃の生活のなかで支援を中心に行った。
- ② 中学校 ○生活支援…入所歴が長い児童と、入所間もない児童の間で些細ないざござは見られたが全体的に落ち着いた生活を送ることができた。
- 個別の係わりを通して、各児童と職員の交流を深めた。
- 学習支援…学習塾への通塾や学習ボランティアの協力などを活用し、各々に合った支援を実施した。
- ③ 高校生 ○生活支援…アルバイトや部活動など、目標をもって取り組むことができた児童とそうでない児童に分かれた。また、帰宅時間がルーズになる児童については、その都度指導を実施した。
- 学習支援…進級が危ぶまれる児童もいたが、なんとか単位取得に至ることができた。学習支援よりも、提出物の提出や登校に対しての支援を実施した。
- 進路…高校卒業生 3 名 (進学 2 名・未定 1 名)
- 進学… ・日本経済大学商学科  
・福岡カレッジオブビジネス  
クラウドコンピューティング学科

### 3. 職員について

#### (1) 人員について

(単位：名)

職種 区分	園長	事務員	家庭支援専門 相談員	個別対応職員	里親専門相談員	保育士	心理士	看護師	栄養士	調理員等	合計	
						児童 指導員						
定数	1	1	2	1	1	28	1	0	1	4	40	
4月1日在籍数 含同日採用	1	(1) 1	2	1	1	(1)	(2) 1	0	1	(2) 4	(6) 43	
						31						
異動	年間退職者数 含3月31日 付退職	0	0	0	1	0	(0)	0	0	0	1	10
							8					
異動	年間採用者数 除4月1日 付採用	0	0	0	0	0	(2)	0	0	0	1	(2) 1
							0					
3月31日在籍数 除同日退職	1	(1) 1	2	0	1	(3)	(2) 1	0	1	(2) 4	(8) 34	
						23						

※・・・( )内は非常勤職員

#### (2) 充足等について

職員定数(4:1)は40名であるが、実人数は43名でスタートした。

非常勤心理士3名を採用。

### (3) 研 修 等 に つ い て

職員のケアワーカーとしての資質向上のため、県内外の研修会やその他諸々の研修会に積極的に参加し、入所児童の処遇向上を図った。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止のためオンラインでの研修参加も併用した。

5/2	子どもの虹研修	1名
5/17~6/2	県社協新任研修	5名
5/24	保健・衛生研修会	1名
5/24~25	市社協新任研修	4名
6/3	市福協新任研修会	5名
6/14~15	九州ブロック研修会	6名
6/21~22	中堅職員研修	3名
6/29	県養協研修①	4名
7/27	リフカー研修	3名
8/8	児童福祉法に関する特別研修会	2名
9/20	市福協職員研修会Ⅱ	25名
11/24	法人研修	7名
12/10~11	虐待防止学会	3名
12/15	児童福祉施設給食関係者研修	4名
1/20	県養給食部会研修	1名
3/10	県養協研修②	4名

### 4. 施 設 整 備 に つ い て

- 固定資産物品 …… 業務用パソコン4台  
遊具（滑り台／砂場）  
公用車1台
- 工事／修繕 …… 松林樹幹注入工事

## 5. 主な出来事

研修同様新型コロナウイルス感染防止を考慮し行事の自粛を行なった。  
次年度もコロナ禍の状況を踏まえ行事を検討していく。

4/1	辞令交付
4/7	入学祝
4/29～5/5	ゴールデンウィーク外泊
5/18	法人監査
7/8	権利擁護委員会
7/25	夜間避難訓練
8/2	盆読経
夏休み期間	ホーム行事
10/9	校区体育祭
11/3	校区立花山登山
12/24	クリスマス会
1/1	年賀の会

## 6. 苦情解決処理委員会について

○一時保護所入所中の中学生の児童より、男性職員の言動に不適切な点があった旨の申し出があった。状況把握に努め、対象児童に誤解や行き違いがあった点の説明及び謝罪を行い対応した。

## 7. 権利擁護委員会

○こどもたちの権利擁護、施設生活の課題、また、現在の社会的養護に求められるものについての報告を実施した。

## 8. その他について

### ① 安全管理

- 防災訓練…消防署の指導による防災訓練を実施、また年2回の通報訓練を行った。  
(避難、消火、通報訓練・地震避難訓練)
- 健康管理…例年通り児童や職員の定期検診・全職員の腸内検査を実施。また、全児童・全職員にインフルエンザの予防接種を実施し、病気の予防や体調管理に努めた。新型コロナウイルス対策としては、検温・手指消毒・マスク着用の徹底など施設内で出来る限りの対策を行うと共に、行政の方針に合わせ児童の生活支援を行った。

- 衛生管理・・・各ホームでの手洗い／うがいの奨励を行なうと共に、施設内での感染性の高さを意識付け、食中毒予防など衛生意識向上に努めた。  
食事の配膳の際のエプロン／三角布の着用の徹底。  
保健所指導のもと調理室の衛生管理を実施した。  
職員／児童の共有スペースでの食事を回避。  
食卓へのアクリル板設置。 職員／児童へのワクチン接種の促進。
- コロナウィルス感染防止  
新型コロナウイルス対策として、備品の確保や日々の声掛け、日常的なマスクの着用など、感染防止に努めた。
- ② 地域交流・・・昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響で地域行事も軒並み中止となった中ではあったが、小規模の活動には可能な限り参加した。
- ③ 各種事業・・・地域小規模児童養護施設 「あすなろホーム」(男児)  
地域小規模児童養護施設 「結実ホーム」 (女児)  
小規模グループケアホーム 5ホーム (男児3／女児2)  
一時保護専用ホーム※ 「クローバー」 (男児6名／女児6名)  
※ショートステイ事業を含む  
自立援助や家族再統合、また、家庭的な生活を目標に、こどもたちの安心・安全な生活の確保に取り組んだ。
- ④ 後保護・・・コロナ禍ではあったが、卒業生の帰園時や各種問い合わせ時に支援を行った。また、成人式の際には、ささやかではあるがお祝いを実施した。
- ⑤ 実習生、ボランティアの受け入れ  
新型コロナウイルス感染防止により、実習生・ボランティアともに、自粛及び自粛のお願いを一部実施したため、昨年度に引き続き減少傾向となった。
- 実習生(大学、短大、その他)
  - ・ 受け入れ校…20校、実習日数10日～24日、実習実人員76名
- ボランティアの受け入れについて
  - ・ ボランティアの受け入れについてはマニュアルを作成し、職員に徹底し意思の統一を図った。
- ボランティア(招待)(敬称略)
  - ・ 食事／食材…博多食文化の会／焼肉極味や
  - ・ 試合観戦…ライジングセファーフ岡／福岡県市町村振興協会(プロ野球)
- ボランティア(訪問)(敬称略)
  - ・ 学習指導(九大学生)

⑥ 寄付物／寄付金

○ 寄付物について（敬称略）

・匿名希望（ふるさと納税返礼品）	・(株)わっはっは 2 件（食材）		
・不二精機(株)（クリスマスプレゼント）	・(株)博多座（チケット）		
・JETBOOK 作戦（図書カード）	・パイオニア産業（テレビ）		
・ファミリーマート原田 3 丁目店 3 件（食材）	・NPO 法人いるかねっと 3 件（食材）		
・コストコホールセールジャパン 2 件（食材）	・ABUUU(株)（衣類）		
・(株)環境開発（ギフトカード）	・他 57 件		
・博多不動産(株)（ギフトカード）		全 75 件 計	4,884,000 円

○ 寄付金収入（敬称略）

・NPO 法人ブリッジフォースマイル	450,000 円	・匿名希望	200,000 円
・(株)Eネットワーク 酒井一郎氏	300,000 円	・井上敏恵	200,000 円
・安田株式会社	300,000 円	・日本九州華僑華人青年会	150,000 円
・(株)ミロク企画	266,000 円	・みんながサンタ!!企画実行委員会	121,000 円
・西村博之氏 4 件	245,000 円	・曾根泰子氏	120,000 円
・WITHDOM Group(株)南郷克英氏	200,000 円	・福岡和白病院	104,000 円
・		・	
・		・他 22 件	1,535,000 円
		全 37 件 計	3,991,000 円